

アクティブラーニング実践事例

事例1 福井大学附属中学校

「主題－探究－表現」型の授業



子どもたちが自身が主体的に
教科の本質にせまる学びを構築する



子どもの筋で授業を見る

学習展開案

1. 単元名

動的ネーミング(単元を貫く主題)

2. 単元設定の意図

(1) 単元について

なぜこの単元を学習するのか
教科の本質から分析したこと

(2) 展開構想

3年間のカリキュラムの中での
位置づけやつながり

(3) 単元のねらい

授業者が提案したいこと
や挑戦したいこと

(核となる学び)

次の学びにつながる省察とは

3. 学習展開の計画と実際

学習展開の計画と実際(例)

直線図形を色々な見方で見てみよう (「平面図形」) 1学年4～5月

時	学習の流れと内容	学習活動(実際)
4 ↓ 8	<ul style="list-style-type: none"> ○線分を6本まで使って図形を作る ○アルファベットを分類する ○線対称と点対称を振り返る ○図形の移動について学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・多角形, 正多角形について知り, 三角形・平行・垂直・角の記号を学ぶ ・STUVWXYZの8つの文字を2つに分類する (分類の視点) 線対称, 点対称, 一筆書き, 直線, 曲線, 平行, 回転 ・分類の視点をもとに, 線対称・点対称を振り返り, 身のまわりで線対称や点対称となっているものを探す ・分類の視点をもとに, 回転移動・平行移動・対称移動を学ぶ

立体の特徴を伝え合おう (「空間図形」) 1学年5～6月 15時間配当 本時第10時

時	学習の流れと内容	学習活動(計画と実際)
1 ↓ 7	<ul style="list-style-type: none"> 主題の把握 条件の把握 立体を作成する 振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・ある立体を観察して, その特徴を言葉で人に伝える ・班の中で, 立体の特徴を伝える役, 立体を作成する役, 記録する役の役割分担をする ・聞き手は, 伝えられた形をイメージして粘土, 竹ひご, 画用紙から2種類以上選び, 立体を作成する ・作成後, 班の中で記録役を中心に情報を共有する ・立体の特徴をどのような観点で伝えているかを考える
8 9 10 本時 11 ↓ 15	<ul style="list-style-type: none"> 課題の把握 立体を仲間分けする 立体図形の特徴を明らかにする 立体図形の体系化 空間図形の一般化 振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・作成した立体をもとにして, 立体を仲間分けする ・仲間分けの視点をもとにして, 立体図形の特徴を明らかにしていく ・具体的な立体を通して, 柱体と錐体の特徴, 空間の中での平面や直線の位置関係, 面や線を動かしてできる立体, 立体の投影図の一般的な見方を考える ・今まで学んだことを振り返り, 学んだことを自分の言葉でまとめるレポートを作成し, 単元全体を振り返る ・具体物へ働きかけ, 考えを振り返るために身近な立体を紹介するレポートを作成し, クラスで発表する

学習内容的つながり(図形)

探究方法的つながり

探究方法的つながり

生活場面を数学で表そう (「文字の式」「空間図形」) 1学年10月

時	学習の流れと内容	学習活動(計画)
1 ↓ 15	<ul style="list-style-type: none"> ○文字式を作成する ○文字式のきまりをつかむ ○数式を作成する 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事の中から数量を見つける ・定数と文字式を区別して, 数量を文字式で表す ・作成した文字式をもとにして, 文字式の表し方を学び, 式の値を求める ・面積図や計算法則をもとにして, 式の計算を行う ・円の面積と円周, おうぎ形の弧の長さや円周についての公式を学ぶ ・身のまわりから自分のオリジナルの数式を作成し, 紹介する

学習展開の計画と実際(例)

同じものはど～れだ？立体の特徴を伝え合おう！（「空間図形」） 15時間配当 本時第10時

時	学習の流れと内容	学 習 活 動（計画と実際）
1 ↓ 6	<p>〈立体作成の段階〉</p> <p>○主題を把握する</p> <p>○条件を把握する</p> <p>○立体を作成する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ある立体を観察して、その特徴を言葉で人に伝える 班（5人）の中で、立体の特徴を伝える役（2人）、立体を作成する役（2人）、記録する役（1人）の役割分担をする 聞き手は、伝えられた形をイメージして粘土、竹ひご、画用紙から2種類以上選び、立体を作成する 作成後、班の中で記録役を中心に情報を共有する
7	<p>〈振り返りの段階〉</p> <p>○立体の特徴の伝え方を確認する</p>	<ul style="list-style-type: none"> 立体の特徴をどのような観点で伝えているかを考える <p>《立体の特徴の見方》</p> <p>・数（面、点、辺、頂点）、対称性、平面図形で見たときの形、展開図、上・横から見た図、比、直線と曲線、平面と曲面、面や線の積み重ね、平行・垂直、等しい辺の長さ</p> <p>・作成した立体を提示して他の班と比較する</p>
8 9	<p>〈仲間分けの段階〉</p> <p>○立体を仲間分けする</p>	<ul style="list-style-type: none"> 作成した立体をもとにして、立体を仲間分けする <p>《仲間分けの視点》</p> <p>底面の形、柱体と錐体、頂点・辺・面の数、直線・曲線、側面・底面・曲面、等しい面、切断、展開図、面と辺の位置関係など柱体と錐体と</p>
10 本時	<p>〈振り返りの段階〉</p> <p>○仲間分けの視点を整理する</p>	<p>そうでないもの、円があるものないもの、同じ形があるものないもの</p> <p>・仲間分けの視点をもとにして、立体図形の特徴を明らかにしていく</p> <p>《立体図形の特徴のいろいろな見方》</p>
11 ↓ 13	<p>〈立体図形の特徴を把握する段階〉</p> <p>○立体図形の特徴を明らかにする</p>	<p>柱体と錐体の特徴、空間の中での平面や直線の位置関係、面や線を動かしてできる立体、立体の投影図、立体図形の特徴を空間の中で把握をする、「底面」という言葉をもとにして柱体と錐体を定義する、対象を平面から空間に拡張し、位置関係を体系化する、面や線を動かしてできる立体を作成した立体もとに説明する、立面図の見方を捉える</p>
14 ↓ 15	<p>〈振り返りの段階〉</p> <p>○既習事項をまとめる</p> <p>○レポートを作成する</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今まで学んだことを振り返り、学んだことを自分の言葉でまとめるレポートを作成し、単元全体を振り返る 具体物へ働きかけ、考えを振り返るために身近な立体を紹介するレポートを作成し、クラスで発表する

本時の過程を中心に記載

社会科

「なぜヨーロッパ州には先進国が多いのだろうか？」

- 身のまわりの外国とのつながりを見つけ、ヨーロッパ州を学ぶ必要性を生む
- 先進国の条件を調査・検証し、EUの抱える課題を考える

他国に関心を持つ／多様な視点を獲得する



世界の諸地域の特性や課題を様々な視点から協働で探究していく



世界を見つめる視野が広がる



英語科

「私たちの提言～世界のために～」

環境問題や児童労働などの世界の現状を知り、
それらについての自分の考えや意見を持つ

意見の交流

協働探究



世界の諸問題を解決するために、自分たちができること
やすべきことについてのプレゼンテーションをする

美術科

「『いいな』と思う色に迫ろう」

「この色いいな」と思った色を、絵の具で表現する

色の美しさ
やその表現
方法を仲間
とともに探る

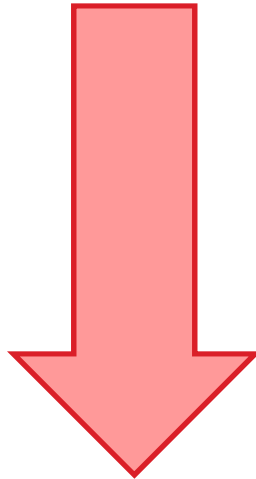


自分のめざす色を表現しながら、色の魅力を感じる

技術科

「緑は地球を救う？附中グリーンプロジェクト」

- 学校生活をより快適に過ごす方法を協働で考える
- 身近な植物を栽培・育成する



持続可能な社会を実現するために、環境・エネルギー・食糧・資源などの問題について、生物育成の技術を用いて解決する